

令和4年 日出町議会 12月定例会

令和4年
行政視察研修報告書

日出町議会運営委員会

日出町議会運営委員会行政視察研修報告書

【視察研修日程】 2022年10月17日（月）～2022年10月19日（水）

【研修視察場所】 栃木県高根沢町（10月17日）

栃木県上三川町（10月18日）

■ 研修視察の目的と成果

1. 高根沢町

議会の活動内容について、全国町村議会議長会より表彰を受けている。高根沢町議会では以下の議会運営を学ぶ目的で視察を行なった。



① 『政策づくりと監視機能を十分に発揮』

高根沢町では議会活性化特別委員会を設置し、より良い議会運営のあり方を模索し、議会改革を推進している。具対例としては議会活性化特別委員会ですっかりと議論した上で令和2年4月から会派制を導入し、会派会議や会派代表者会議を通して議論が活発に交わされるようになったとのこと。結果として住民の声を政策づくりに活かし、要望書や提言書にまとめて執行部に直接交渉するなど積極的な働きかけができるようになり、執行部の監視を行う機関として十分に力を発揮できるようになったとのことであった。

② 『住民に開かれた議会』

高根沢町議会では住民の意思を決定する際に民意が反映された議会にするために、日頃からさまざまな住民の声を聞く議会報告会＝カフェ・ド・ギカイを開催しているとのこと。現状、参加者は個々の住民ではなく、各種団体に限定しており、団体から申し込みがあった段階で希望する場所に議員全員が出向く出前方式で開催しているとのことであった。また、「議会だより」の充実を目指し、写真やキャプションを多用し、多くの町民の声を掲載している。日出町議会においても年に一度住民との意見交換会を行なっており、住民に開かれた議会になるために住民の声を直接聞く機会である意見交換会開催の重要性を再確認した。

③ 『地域活性化のための特別な取り組み』

高根沢町議会では災害発生時の議会对応として、正副議長の登庁や議員の安否確認、それぞれの地域での活動及び近況報告を行うことを災害対策指針として規定している。さらに今後は被災地・避難所での情報収集及び事務局への報告、報告を受けた事務局から議長

への報告及び必要に応じた災害対策本部への対応要請、今後の対応を協議することなどを盛り込んだ災害対策指針を整備するとのこと。

2. 上三川町

上三川町議会も全国町村議会議長会より表彰を受けている。上三川町議会では以下の目的で視察を行い、議会運営に関する理解を深めた。

『議会活性化の取り組み』

上三川町議会では議会の活性化、開かれた議会を目指し、平成24年3月に「上三川町議会活性化に向けた改革検討会」を設置。毎月1回会議を開催し、あらゆる課題に対して協議を重ねているとのこと。議員定数の削減も話し合わせ、全員一致でそれまでの定数16人から14人への削減が決まり、令和元年12月の町議会議員選挙から実施されたそう。議員定数の削減により、住民への影響はないかを確認したが、特に定数削減の影響はないとの回答であった。日出町議会でも現在定数削減の検討が進んでいる。

また、全ての委員会の町民への公開、中学生模擬議会等の開催を通じて、町民が議会に対して関心を持つよう工夫することで議会の存在価値を高めている。

■ 視察研修を終えて

両町とも、企業進出によりホンダ自動車、日産自動車の工場が各々あり、財政面は好調となっている。その一方、新住民が増えたことで町議会議員選の投票率も低く、議会への要望、関心も薄いようであった。それに呼応するように、両町議員定数の削減を行っている。議会運営の先進地である2町での視察を通して、真に町民のためになる議会の在り方について深く学ぶことができた。今後の議会改革、及び議員活動のために役立てていきたい。

